

パティスリーシャノン

パティシエの玉川さんが開発した
介護用ズボン「おはなちゃん」



老老介護が社会問題化する 玉川さんは2年前に他界した中、介護者が要介護者を移動させた母親を3年余り介護。母親をベッドから車いすなどに移動させる際の負担を軽減する介護用ズボン「おはなちゃん」を開発。衣類の腰の部分

介護経験基にズボン開発

菓子店パティスリーシャノンを引継ぎ張って抱え上げていた(福井市大島町山崎)店主の玉川敏清さん(66)が開発した。が伸びて思うように力が入らず、苦勞したという。

福井の洋菓子店主、負担軽減

もつ少し楽に抱え上げられるの衣料メーカーに依頼。3千円(税込み)で色は赤、青、黄、黒の4色。商品名「おはなちゃん」は母親の名前から付けた。玉川さんは「これから高齢化が急速に進んでいく。介護する側、される側双方に優しい商品と話している。注文、問い合わせはパティスリーシャノン ☎0776(38)6358。(山内弘司)